

7 検査部門公開情報「2.検査材料別集計対象医療機関数、検体数、分離菌数」
 および「3.検査材料別分離菌数割合」

対象帳票の菌名表記が“sp.”となっているものを”spp.”に変更する。

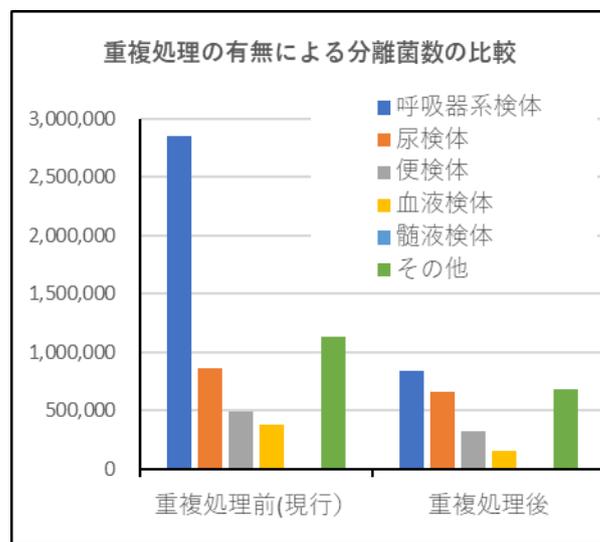
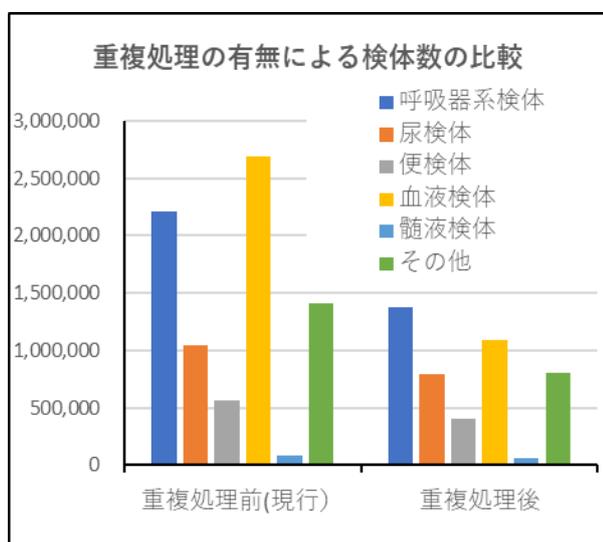
また、「2.検査材料別集計対象医療機関数、検体数、分離菌数」および「3.検査材料別分離菌数割合」には現状、重複処理していない株数が表示されているが、帳票の中で、このセクションだけ重複処理をしていない値が表示されるのは紛らわしいという指摘を、医療機関から頂くことがある。そのため、重複処理した値を示した方が良いと思われる。

重複処理の有無で集計値がどれだけ変わるのかを高速集計ツールで試集計した結果を以下に示す（なお、高速集計ツールによる集計値は、公開情報の値とは僅かに異なる）。

7.1 重複処理前（現行）と重複処理後の検体数等

表 6. 重複処理前後の検体数、陽性検体数、分離菌数（2017 年）

検査材料分類	検体数		陽性検体数		分離菌数	
	重複処理前(現行)	重複処理後	重複処理前(現行)	重複処理後	重複処理前(現行)	重複処理後
呼吸器系検体	2,214,026	1,371,565	1,384,975	845,495	2,852,343	845,495
尿検体	1,043,587	793,332	571,552	438,748	863,999	664,333
便検体	569,625	403,659	259,899	175,293	492,547	329,003
血液検体	2,689,342	1,091,245	344,354	140,408	385,051	157,513
髄液検体	86,857	65,210	3,965	2,332	4,370	2,560
その他	1,409,625	806,101	646,566	382,529	1,131,709	687,587
合計	8,013,062	4,531,112	3,211,311	1,984,805	5,730,019	3,623,275



7.2 重複処理前（現行）と重複処理後の検査材料別分離菌数

公開情報 2017 年（年報）「3. 検査材料別分離菌割合」分離菌のうち上位 15 菌種を表示

図 14. 血液検体分離菌数（重複処理前 N=385,051）（重複処理後 N=157,513）

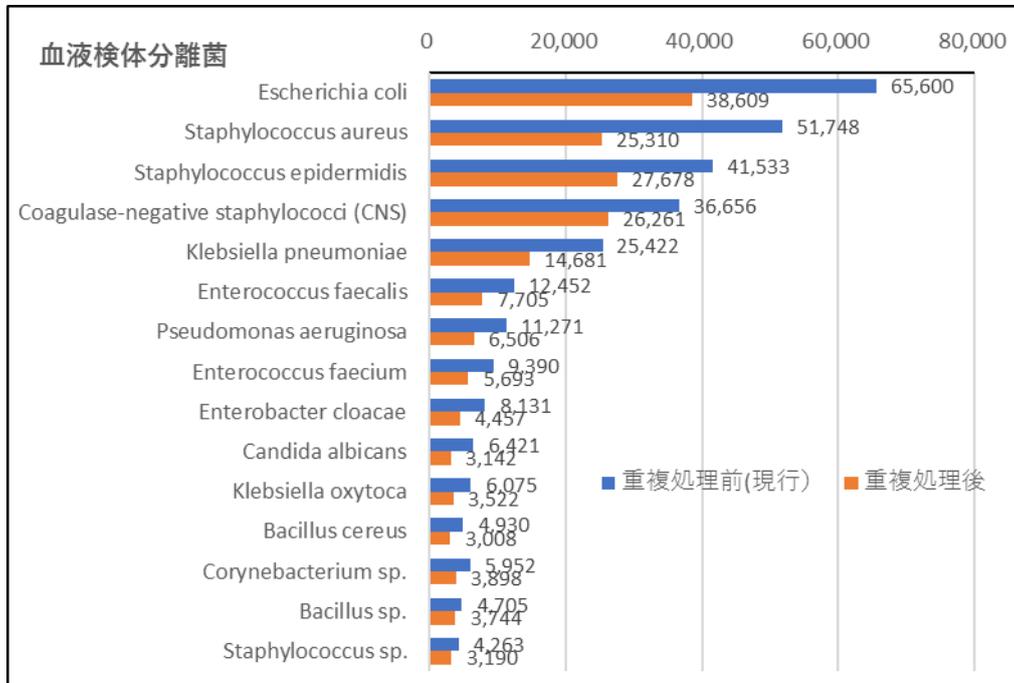


図 15. 髄液検体分離菌数（重複処理前 N=4,370）（重複処理後 N=2,560）

